

事業番号 2021 - 文科 - 20 - 0214

令和3年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	データ関連人材育成プログラム			担当部局庁	科学技術・学術政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	令和8年度	担当課室	人材政策課	人材政策課長 奥野真	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	AI戦略2019(令和元年6月統合イノベーション戦略推進会議 決定) 成長戦略実行計画(令和2年7月17日閣議決定) 統合イノベーション戦略(令和2年7月閣議決定) 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議 決定)		
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	各分野の博士人材等について、データサイエンス等を活用しアカデミア・産業界・教育分野を問わず活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する研修プログラムを開発・実施する。また、開発されたプログラムや成果の横展開を図ることで、高度データ関連人材育成の発掘・育成・活躍促進を加速させる。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	大学、企業等がコンソーシアムを形成し、博士課程学生・博士号取得者等の高度人材に対して、データサイエンス等のスキルを習得させる研修プログラムを開発・実施し、キャリア開発の支援を実施することにより、高度データ関連人材を育成し、社会の多様な場での活躍を促進。また、令和元年度からは全国ネットワーク拠点を構築し、それぞれの機関で開発されたプログラム、蓄積された経験・知識の共有や、参画機関以外の機関を対象とした説明会の実施など、成果の全国的な横展開を行う取組を支援。(補助率1/2)						
実施方法	補助						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	251.7	302.8	271.3	242	-
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計		251.7	302.8	271.3	242	0
	執行額		239.2	296.8			
	執行率 (%)		95%	98%	0%		
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		95%	98%	-			
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由			
	科学技術人材育成費補助 金	240.2		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致し ない場合がある。			
	諸謝金	0.6					
	職員旅費	0.6					
	委員等旅費	0.4					
	庁費	0.2					
	その他	0	#VALUE!				
計	242	-					

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	年間100人以上のエキスパート人材の育成	本事業におけるエキスパート人材の年間育成数	成果実績		人	69	83	88	-	-
			目標値		人	100	100	100	-	-
			達成度		%	69	83	88	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業の年次報告、中間報告等によって確認									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	プログラム修了者の就職者数の増加 ※昨年度の数値を目標値とする	プログラム修了者の就職者数	成果実績		人	70	81	134	-	-
			目標値		人	61	70	81	-	-
			達成度		%	93.4	117.5	153.7	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業の年次報告、中間報告等によって確認									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	プログラム受講者数	活動実績		人	369	615	1,537	-		
		当初見込み		人	-	284	493			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	プログラム修了者数	活動実績		件数	123	172	232	-		
		当初見込み		件数	-	228	295			
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	データ関連人材育成プログラム全体の執行額 /プログラムの修了者数	単位当たり コスト		百万円/件	1.9	1.8			-	
		計算式		百万円/件	239.2/123	296.8/172			-	
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策	8 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化								
	施策	8-1 科学技術イノベーションを担う人材力の強化								
	測定 指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 3 年度	
		若手研究者に自立と活躍の機会を与えるための環境整備の状況に関する指数	実績値		人	4.1	4	-	-	-
			目標値		人	4	4	-	-	4
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	博士号取得者等にデータサイエンス等のスキルを習得させることで、若手研究者が高い能力を発揮することに寄与する。									
	本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
	若手研究者の安定かつ自立した研究環境の整備や若手研究者育成のためのプログラム開発等により、我が国における若手人材の活用促進や研究の質の向上に寄与する。									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	AI戦略2019(令和元年6月統合イノベーション戦略推進会議決定)に基づいて国として進めることが必要な施策であり、ニーズの高い事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	AI戦略2019(令和元年6月統合イノベーション戦略推進会議決定)に基づき実施している施策であり、国全体としての取組が必要となるため、地方自治体に委ねることが出来ない				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	AI戦略2019(令和元年6月統合イノベーション戦略推進会議決定)に示されている目標の実現のための施策であり、政策目的の達成手段として必要であり優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業の実施にあたっては、応募機関からの提案内容を外部有識者委員会等において公正・中立に審査し、競争性の確保を図っている。 なお、一者応札になった事業については、十分な公告期間の確保に努める等、競争性の確保のための取組を行っている。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を行っている。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を行っている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	公募要領により、費目・使途を適切に適切なものに定めている。さらに、額の確定調査において、支出の合理性・用途に				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を行っている。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	概ね成果目標に見合った成果実績が上がっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね見込みに見合った活動実績が上がっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	事業の実施にあたっては、補助期間終了後も機関による自主的な取組が継続されるよう努めている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名			
所管府省名	事業番号	事業名					
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施にあたっては、応募機関からの提案内容を外部有識者委員会等において公正・中立に審査し、競争性の確保を図っている。 額の確定調査を行い、支出の合理性・用途について適切に確認している。 事業は着実に実績を上げている。 					
	改善の方向性	引き続き、効果的・効率的な事業の運営を行う。					

外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成28年度	-					
平成29年度	205					
平成30年度	205					
令和元年度	文部科学省 - 0196					
令和2年度	文部科学省 - 0199					
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<p>※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 文部科学省 271百万円 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> 第四次産業革命を勝ち抜く上で求められるAI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等を高度に駆使する人材を育成するため、博士号取得者等にデータサイエンス等のスキルを習得させ、キャリア開発に取り組む機関を支援する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 諸謝金 0.8百万円 職員旅費 0.4百万円 委員等旅費 0.4百万円 }) を含む </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 【補助金等交付】 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> A.科学技術人材育成費補助金 239百万円 大学、独立行政法人(全5件) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> B.科学技術人材養成等委託費 26百万円 民間企業(全1件) </div> </div> </div>					
	費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.大阪大学		B.PwCコンサルティング合同会社		
費目		使途	金額 (百万円)	費目	金額 (百万円)	
人件費		業務担当職員及び補助者の人件費	21	人件費	業務担当職員及び補助者の人件費	20
事業実施費		事業を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	44	業務実施費	事業を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	3
設備備品費		設備備品を取得、製造又は効用を増加させるための経費	4	一般管理費		2
計		69	計		25	

